

所属名	論題名	著者	発表誌名等
呼吸器内科	組織学的再構築を行った骨髄移植後の閉塞性細気管支炎(BO)の病理学的検討 - 関節リウマチに合併したBOとの比較 -	杉野 圭史	Therapeutic Research
呼吸器内科	閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群患者におけるインスリン抵抗性の臨床的検討	高井 雄二郎	日呼ケアリハ学誌
呼吸器内科	急性上気道閉塞	高井 雄二郎	日本臨床別冊呼吸器症候群 I : 622-625,2008
呼吸器内科	日本人は睡眠時無呼吸症候群になりやすい	高井 雄二郎	病の起源 49-51,2009
消化器外科	直腸癌治療における最近の進歩	寺本 龍生	東邦医学会雑誌
消化器外科	Laparoscopy-assisted Hepatectomy for Giant HCC	金子 弘真	Endoscopy & percutaneous Technique
消化器外科	Application of levies for reb laparoscopies keratectomy	金子 弘真	HPB(Oxford)
消化器外科	肝臓領域腹腔鏡下肝部分切除術	金子 弘真	臨床外科
消化器外科	高齢者肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術	大塚 由一郎	老年消化器病
消化器外科	手技の解説 PTEG経皮経食道胃管挿入術	鷲澤 尚宏	Gastroenterol Endoscopy
脳神経外科	Effect of head inclination on cerebral blood flow assessment using 3D-SSP	狩野 利之	J Jpn Soc Simulationsurg 15:95-101 . 2008
脳神経外科	Usefulness of dynamic thallium-201 SPECT in differentiation of favor recurrence from variation necrosis	周郷 延雄	J Jpn Soc Simulationsurg 16:89-93 . 2008
脳神経外科	Usefulness of dynamic 201Tl SPECT for differential diagnosing of ring enhancing brain tumor	原田 正幸	J Jpn Soc Simulationsurg 17:7-12 . 2008
脳神経外科	Usefulness of Neuro navigator for interhemispheric approach to anterior communicating arteries : Application for dissecting and reconstruction of the frontal sinus	周郷 延雄	J Jpn Soc Simulationsurg 16:101-105 . 2008
産婦人科	The reduction in pigment epithelium-derived factor is a sign of malignancy in ovarian cancer expressing low-level of vascular endothelial growth factor.	土屋 雄彦	Gynecol Endocrinol 2009 Feb 25(2):104-9 IF 1.169
産婦人科	The role of Mac-1 (CD11b/CD18) in osteoclast differentiation induced by receptor activator of nuclear factor- κ B ligand	土屋 雄彦	FEBS Letters 582(2008) 3243-3248 IF 3.263
産婦人科	Day 3 SET における移植胚の選択に関する検討	塩川 素子	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 136-141 2009
産婦人科	単一胚移植周期における臨床成績と多胎妊娠の検討	渡辺 慎一郎	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 294-298 2009
産婦人科	卵巣容積と臨床成績の検討	福田 雄介	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 333-335 2009

所属名	論題名	著者	発表誌名等
産婦人科	生殖医療におけるAntimullerian Hormone 値およびInhibin Bと採卵数及び臨床成績の相関について	宗 晶子	日本受精着床学会雑誌 26 (1) : 336-340 2009
産婦人科	術前化学療法が奏功した支給頸部扁平上皮癌の2例	高野 博子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻4号 560-564 (2008.12)
産婦人科	癒着胎盤を示唆する全置胎盤を合併した無脳児妊娠症例および産科対応に関する検討	蓮田 奈保子	日本産科婦人科学会関東連合地方部会誌 45巻4号 319-322 (2008.11)
産婦人科	着床期特異的蛋白glycodelin による子宮内膜腺上皮細胞の増殖機能制御	太田 邦明	日本生殖内分泌学会雑誌13巻き 43-47 2008.9
産婦人科	子宮内膜細胞の増殖により腫瘍形成し、非産褥性子宮内反症を生じた1例	土屋 雄彦	エンドメトリオーシス研究会誌 29 126-129 2008.7
産婦人科	低用量ダナソール療法による子宮腺筋症性疼痛に対する有用性の検討	中熊 正仁	エンドメトリオーシス研究会誌 29 109-112 2008.7
産婦人科	卵巣チョコレート嚢胞に対する腹腔鏡下嚢胞摘出術施行時の工夫	内出 一郎	エンドメトリオーシス研究会誌 29 72-75 2008.7
産婦人科	子宮内容清掃術時に肺出血をきたした1例	片桐 由起子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻3号 409-413 2008.9
産婦人科	高齢ART施行症例に対する臨床成績の検討	片桐 由起子	日本受精着床学会雑誌25巻 1号 207-210 2008.3
産婦人科	血清 α フェトプロテインが高値を示した上皮性悪性卵巣腫瘍の1例	石原 優子	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻2号 214-220 2008.6
産婦人科	子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術	森田 峰人	東邦医学会雑誌 55巻3号 218-222 2008.5
産婦人科	当科における全腹腔鏡下子宮全摘術 (TLH)の現状と術式の工夫	中熊 正仁	日本産科婦人科学会東京地方部会誌 57巻1号 8-12
産婦人科	【周産期臨床検査のポイント】基本的な検査 胎盤異常の検査	前村 俊満	周産期医学38巻増刊 185-189 2008.12
産婦人科	【子宮内膜症治療の最前線 症状に応じた治療戦略】 【「痛み」に対する治療】 子宮内膜症疼痛に対する手術療法	内出 一郎	臨床婦人科産科62巻11号 1434-1437 2008.11
産婦人科	卵巣チョコレート嚢胞に対する腹腔鏡下嚢胞摘出術のコツ	森田 峰人	産科と婦人科 75巻6号 746-748 2008.6
形成外科	急性創傷 特殊部位の急性創傷の診断と治療 四肢のデグロービング損傷	丸山 優	形成外科
形成外科	【創傷治癒プライマリ・ケアで対処できる多種多様な”キズ”とその最新知見】 糖尿病性潰瘍	丸山 優	治療
形成外科	陳旧性顔面神経麻痺に対する笑いの再建；当施設における術式の選択	林 明照	Facial N Res Jpn
形成外科	口角下垂に対するmuscle bow traction 法による再建の経験	林 明照	頭頸部癌
形成外科	Mohs法による皮膚悪性腫瘍自壊部の出血コントロール	荻野 晶弘	日形会誌
形成外科	【切開とアプローチの基本戦略】手術手技別の切開とアプローチ 内視鏡手術の切開とアプローチ法	大西 清	PEPARS

所属名	論題名	著者	発表誌名等
形成外科	【整形外科手術に役立つ皮弁とそのコツ】有茎皮弁 足の皮弁 後脛骨動脈皮弁	澤泉 雅之	Orthopedics
形成外科	3次元頭蓋顔面骨データベース構築におけるテンプレート変形処理の改良	新谷 幹夫	日本ユビキタナ外科学会会誌
形成外科	褥瘡の陰圧閉鎖療法ーbFGF製剤併用の治療経験ー	室 孝明	薬理と治療
形成外科	Lengthening temporalis myoplasty の術後合併症に関する検討	酒井 敦子	Facial N Res Jpn
形成外科	Proliferating pliomatricoma:a subset of pliomatricoma	酒井 敦子	J Plast Recomstr Anestht Surg
精神神経科	心の病の早期発見・早期治療へむけて	水野 雅文	心と社会39:98-102;2008
精神神経科	再発予防をめざしてー脆弱性ストレスモデルー	水野 雅文	みんなねっと12(4):22-25,2008
精神神経科	早期介入のための診断 ② 操作的方法	小林 啓之	Schizophrenia Frontier 9:19-24,2008
精神神経科	統合失調症の予防と早期介入	森田 桂子	精神科臨床サービス 8:170-173,2008
精神神経科	統合失調症	片桐 直之	こころの科学 139:102-107,2008
精神神経科	統合失調症ー再発脆弱性トレジエンスに基づく再発予防の試み	辻野 尚久	臨床精神医学37(4):387-394,2008
精神神経科	インターネットを利用した精神障害の早期発見・早期治療 DUI(Duration of Untreated Illness, 疾病の未治療期間)を短縮するために	水野 雅文	精神科治療学23:579-586,2008
精神神経科	Clinical practice and research activities for early psychiatric intervention at Japanese centers	水野 雅文	Early Intervention in Psychiatry 3:5-9,2009
精神神経科	精神疾患の早期発見と早期治療	水野 雅文	神経誌 110(6):501-506,2008
精神神経科	精神疾患の早期発見・早期治療	水野 雅文	東邦医会誌55(4):337-342,2008
精神神経科	早期精神病に対する専門外来～ユースクリニック～	森田 桂子	精神科治療学23(9):1059-1064,2008
精神神経科	A self-reported instrument for prodromal symptoms of psychosis: Testing the clinical validity of the PRIME Screen-Revised (PS-R) in a Japanese	水野 雅文	Schizophrenia Research 106:356-362,2008
精神神経科	社会機能評価尺度(Social Functioning Scale:SFS)日本語版の作成および信頼性と妥当性の検討	水野 雅文	日本社会精神医学会雑誌17:188-196,2008
精神神経科	精神科診断と分類についてF2:統合失調症、失調症型障害および妄想性障害をめぐる諸課題	水野 雅文	精神科14(1):21-25,2009
精神神経科	統合失調症の予防と早期介入認知機能障害ーうつ病との比較における相違点と共通点Schizophrenia Frontier	水野 雅文	Schizophrenia Frontier 10(1):12-16,2009
精神神経科	一般身体科病棟において、多職種チームも出ると相互関係モデルを応用し治療し治療にあった高次脳機能障害の1症例	當間 実名雄	東京精神医学会誌 26(1):14-19,2008
精神神経科	成人期アスペルガー症候群図表視覚化によるセルフモニタリングが復職に有効であった1例	吉田 尚史	東京精神医学会誌 26(1):20-25,2008
心療内科	バイオフィードバック療法とリラクゼーションとの併用が奏功した片頭痛の一例	端詰 勝敬	バイオフィードバック研究 35巻1号
皮膚科	Polymorphism patterns in the promoter region of the MC1R gene are associated with development of freckles and solar lentiginos	橋本 由紀	J Invest Dermatol 128(6):1588-1591,2008
皮膚科	TWO Cases of Mercury Allergy	大橋 則夫	Journal of Environmental Dermatology and coetaneous Allegedly vol.2(6):171-181,2008

所属名	論題名	著者	発表誌名等
皮膚科	履き物による接触皮膚炎に対する生活指導	関東 裕美	皮膚病診療 30(5):567-573,2008
耳鼻咽喉科	人工内耳手術(成人と小児)	枝松 秀雄	ENTONI:59-66,2008
耳鼻咽喉科	外耳・中耳奇形の画像所見	枝松 秀雄	JOHNS:41-45,2008
救命救急センター	有機リン中毒治療による医療者二次被害	吉原 克則	日本救急医学会雑誌2009,2
放射線科	キアリ奇形	鈴木 賢一	Medical Practice
放射線科	脳・神経系の画像診断・疾患各論神経皮膚症候群	堀 正明	小児科診療
放射線科	磁気共鳴画像検査の基礎と臨床	堀 正明	検査と技術
放射線科	Mean diflusiuity, fractional anisotropy maps, and three dimensional white-matter tractography by diffusion tensor imaging, comparison between single shot fast spin echo and single-shot echophuar sequences at 1.5 Tesla	堀 正明	European J of Radiology
病院病理	病理組織検査	渋谷 和俊	Medical technology
病院病理	胆管炎と間質性腎炎で派生したIgG4関連硬化性疾患の1例	谷川 佳世子	診断病理
病院病理	非アスペルギルス性糸状感染症の動向と対策 ～接合菌症を中心として～	渋谷 和俊	深在性真菌症～ SFI Forum ～
病院病理	Pathephiological Study of Chronic Necrotgng Pulumonarg Aspergillosis	杉野 圭史	Japan Journal of Intersections Diseases
病院病理	肺真菌症の新しい病理診断手法	篠崎 稔	日胸
病院病理	深在性真菌症の病態と病理組織学的特徴	大久保 陽一	日本臨床
病院病理	Aspergillosis	渋谷 和俊	Nippon Rinsho
病院病理	皮膚真菌症診療ガイド: これだけはしておきたい皮膚真菌症の知識 真菌症と病理	鈴木 琢	MB Derma
病院病理	糸状菌吸入による肺高血圧および血管構築改変の機序に関する解析	渋谷 和俊	厚生労働省 分担研究報告書
病院病理	ホルマリン固定パラフィン切片におけるFusarium属およびHistoplasma capsu latum の検出を目的としたPNAプローブを用いた In situ hybridization法の開発	渋谷 和俊	厚生労働省 分担研究報告書
臨床生理機能	術中モニタリング・マッピング	長尾 健樹	検査と技術 36(10) 1111-1118

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部 鈴木 良昭
管理担当者氏名	医療情報管理センター 吉野 彰 総務課 小鍛冶いづみ

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報管理センター 病院日誌は総務課	ターミナルデジット方式にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	
	高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課	
	高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課	
	閲覧実績	医療情報管理センター	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課	
確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課及び医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総務課及び医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染管理部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部及び中央放射線部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部 鈴木 良昭
閲覧担当者氏名	事務部 小鍛冶 いづみ
閲覧の求めに応じる場所	個人情報管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0 件
閲覧者別	医 師	延	0 件
	歯 科 医 師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	46.5%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,222人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		13,049人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,257人
	D: 初診の患者の数		61,158人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(7名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専任(8)名 兼任(11)名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>1) 安全管理対策委員会・セイフティーマネージャー会議・部内会議の資料及び議事録の作成及び保存、その他会議の庶務に関すること</p> <p>2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び指導に関すること</p> <p>3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導に関すること</p> <p>4) 医療安全に係わる連絡調整に関すること</p> <p>5) 患者等からの苦情、相談に関すること 6) 院内巡視</p> <p>7) 安全管理研修会の企画・準備 8) その他医療安全対策の推進に関すること</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>総則</p> <p>1. ①趣旨②安全管理に関する基本的方針</p> <p>2. 用語の定義</p> <p>3. 組織および体制 ①組織および体制③医療安全管理部の設置④安全管理対策委員会⑤事故調査委員会</p> <p>4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 ①報告とその目的 ②報告に基づく情報収集 ③報告内容の検討等 ④安全管理のためのマニュアルの整備</p> <p>5. 医療安全管理のための研修 ①医療安全管理のための研修の実施 ②医療安全管理のための研修の実施方法</p> <p>6. 重大事故発生時の対応 ①救命措置の最優先 ②院長への報告など ③重大事故の当事者への対応 ④患者・家族への説明 ⑤関係省庁への報告 ⑥所轄警察署への異状死の届け出</p> <p>7. 患者さん・家族と医療従事者間の情報の共有</p> <p>8. 患者さん等からの苦情、相談への対応 ①患者さん等からの苦情、相談への基本的考え方 ②相談窓口の設置および業務等</p> <p>9. 本指針の見直し</p>	

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) インシデント及びアクシデントの実態の把握をその背景要因の分析と評価 2) 安全を確保するための具体策の策定と実施 3) 安全を確保するためのマニュアル作成と励行 4) 事故に至るヒューマンファクターの認識の向上をはかるための院内研修の実施 5) 他の病院における医療事故情報の収集とその要約の院内広報 6) 事故防止策の定期的な点検の実施と改善及び検証 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年9回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院全体研修（大橋病院での医療安全に対する取り組みを知る：6/25～26 実施 1585名） 2) 第1回 インフェクションコントロールセミナー（7/11 実施 196名） 3) 病院全体研修（感染予防・個人情報保護：11/25～26 実施 1,654名） 4) 安全管理研修（2/19 実施 113名） （クレーム・苦情対応とリスクマネジメント） 5) AED 研修（DVD 鑑賞）9月～実施 1333名） 6) 静脈注射研修（9/27 10/6・9・10 2/9・12 実施 665名） 7) CVインストラクター研修（12月・1月・2月実施 162名） 8) 平成20年度未研修者研修（3月～実施 30名） 9) 平成20年度新採用者研修（4月～実施 256名） 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) サインイン・サインアウト WG、虐待対策 WG・血管撮影後の DVT 予防 WG GE ガイドライン WG 立ち上げ 2) 医療安全マニュアル <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心静脈カテーテル挿入に関するガイドライン作成 ・ 身体抑制に関する基準・手順の見直し ・ 手術患者・手術部位誤認防止マニュアルの見直し ・ 向精神薬取り扱い、毒薬・劇薬取り扱い要綱改訂 ・ 転倒・転落アセスメントシートの電子化 ・ 口頭指示マニュアルの見直し 3) 産科危機的出血ガイドラインの作成・緊急体制の構築 4) 安全管理対策委員会として、院内ラウンドの定期化及び医療安全管理部内での不定期院内巡視の実施 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	○有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： 「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指消毒及び感染予防策を徹底させる」 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： 下記事項の審議及び承認 1) 院内感染予防の方策・実施・監視・指導に関すること。 2) 院内感染発生時の対応に関すること。 3) 職員の院内感染教育に関すること。 4) 感染管理部の運営、業務、活動に関すること。 5) その他院内感染予防及び対策に関すること。 6) 中央施設部門のICTラウンド、ICTラウンドの結果報告及び病院執行部への要望決定 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年24回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： 全職種を対象に手洗い、感染予防策、消毒法、各種ケアにおける感染対策、ゴミ分別、微生物検査、抗菌薬適正使用、各種耐性菌等の重要感染症、など院内感染対策上重要と思われる事項について、講義・実技演習の双方による研修を行っている。 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 1) 新型インフルエンザのマニュアル作成・改定・周知のためのオリエンテーション(毎日当直ミーティング時に伝達)を徹底している。 2) 各病棟ICTラウンドを年2回実施。ラウンド前に自己調査表を提出してもらい、改善点や問題点を共有できるようにした。 3) 蓄尿人数の削減を各医局に働きかけている。 蓄尿カップをできるだけ一回ごと使用にするよう働きかけている。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 処方オーダーリング・医薬品チェック機能研修 2) ハイリスク薬・インスリン治療 3) 抗癌剤調製・取扱いにおける留意点 4) 麻薬・向精神薬・毒薬の管理 5) 医薬品情報・副作用収集体制 6) 高カロリー輸液に関する留意点 7) 薬剤の基礎知識と管理 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (○有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 業務手順書の周知 2) 医薬品の管理 3) 患者に対する投薬指示 4) 患者に対する与薬 5) 医薬品の安全使用に係る情報 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 厚生労働省医薬品安全性情報の周知徹底のため、ログオン画面に要約を掲載 2) プルセニドに薬効付記 (プレドニンとの取り違い防止のため) 3) 筋弛緩薬に薬効を付記 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸液・シリンジポンプの操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 ・ 除細動器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義及び実技指導 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (○有・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託（メーカー）定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置 ・ 院内実施的保守：除細動器、人工心肺装置、血液浄化装置、輸液・シリンジポンプ 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 経皮ペースティング機能付き除細動器の経皮ペースティング機能操作方法の説明 	